

平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人 洛北わらべ会
洛北幼稚園

1.法人運営

(1)年度まとめ

平成 27 年 10 月の新園舎竣工、平成 29 年 4 月の社会福祉法人制度改革を終え、理事会、評議員会の役員各位の理解と的確な助言・指導を得つつ事業を行えた。また元町学区社会福祉協議会、元町小学校、地域の民生児童委員をはじめとした役員の方々、北区役所、北消防、北警察、洛北幼児園保護者会、広く地域とも連携しながら安定した法人運営ができたことは感謝に堪えない。

他方で、新制度のもと認定こども園への移行について役員会でも承認を得、実現に向けて京都市とも実務協議を進め、また安定し継続的な事業を行えるか収支バランスのシミュレーションを行った。その結果、園の運営実態と照らし合わせた場合、事務処理の煩雑さによる作業量の増加が見込まれることと併せ、人材確保が大きな課題となり、その結果、施設収入がマイナスになる懸念があって当該年度内での移行を断念せざるを得ない状況となった。新年度は引き続き第二種社会福祉事業である保育所として継続して運営を行うが、新制度の 1 号認定児童の保育ニーズがある地域だけに今後人材の確保が進めば移行できるよう準備を進める。

平成 30 年度は幾度の自然災害が襲来した年でもあった。6 月の大阪府北部地震、7 月の豪雨、8 月の猛暑、9 月の台風 21 号と災害が続いた。遠足が中止になったり、大雨特別警報や暴風警報の発令に応じ保護者の理解を得ながら休務対応に追われる影響が出た。当園では幸い軽微な被害で済んだものの、北区内でも停電による休園に追い込まれる園が発生、令和元年に入ったこの 6 月になっても地域の山林が被害そのまま手付かずな箇所も散見される。子ども災害からどう守るのか改めて課題を突きつけられた。

多くの課題がある中、法人としての課題の一つ挙げるとすると人材確保がある。労働人口が減少する社会を前に保育業界における人材確保は深刻と捉え、手を尽くして奔走している状況が続く。定員を満たす入園希望者数がある中でニーズに応えられるよう今後も人材確保について努力していく。

新制度の下、基幹ステーション施設となり 2 年目、各機関との連携を進めながら地域の子育て支援に応えつつ保育内容の充実に努めていきたい。

(2)代表理事の業務執行状況

入園式、運動会、発表会、作品展、卒園式などの行事への参列のほか、日常業務の課題について施設長からの定期的に報告・連絡・相談を受け、課題の把握を行った。また理事会の招集、参加及び議長職を通じ、法人運営に関わった。

2.保育所運営

(1) 所 在 地：京都市北区小山西元町 39

(2) 定 員：90 名

(3) 全体的な計画：平成 30 年度版の作成

(4) 保 育 内 容：

平成 30 年度の保育目標を『みんなで育つ豊かな心～つながる手と手～』と定め、年間を通じ、各年齢に合わせた保育に取り組んだ。また当園保育について保護者の理解も進み、課題を共有し、保護者会とも共働しながら各行事をはじめ日々の保育に取り組み、子どもの成長を感じられたことは保護者共々、喜びと勇気を得られ改めて感謝すべき点と言える。

保育所保育は集団生活の場であるが多様な価値観、生活、子育て方針があって幅広い要望に応える必然も広がってきているとも感じる。同時に少子化の進行と核家族化の影響で、

子どもとの接し方が分らず不安を感じている家庭が平均的になってきており地域を含めた養育力の低下に直面している。とりわけ身体・情緒の発達とバランスをどのように取っていけば良いのか、月齢差や個人差はもとより家庭ごとの個別事情もあり画一的な保育内容では網羅できないケースもある。個別対応についてより丁寧さが求められ今後の課題と言える。

(5) 利用希望者見学案内：入園希望 57 組(昨年度比 13 組減)，一時保育 80 組(昨年度比 7 組減)

(6) 在籍児童数：月別集計

		月												合計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
在園児童数	才児	0	4	4	4	6	7	8	9	9	9	9	9	9	87
		1	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
		2	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
		3	20	20	20	19	19	20	20	20	20	19	19	19	235
		4	12	12	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	131
		5	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
合計		87	87	86	87	88	90	91	91	91	89	89	89	1065	

(7) 給食：

- ・実施日数：完全実施（291日）
- ・乳児提供数：8,657食，幼児提供数：11,825食，職員提供数：6,209食
- ・一時保育数：1,948食
- ・食べ物アレルギー児に対する除去食の提供，乳児への離乳食の提供

(8) 障害児統合保育対策：関係機関との連携

(9) 家庭との連携：

- ・園便り及び献立表の発行：1回/月
- ・懇談会の開催：全体会3回，個別1回（乳児クラス、年長児）
- ・クラス便りの発行：4回/年
- ・作品展冊子制作
- ・給食便りの発行：4回/年
- ・その他の発行物：感染症の病名と登園届，台風接近に伴う保育園業務の体制など
- ・就学支援シートの導入

(10) 途中入退園者：入園 7 名，退園 5 名

退園理由：転居 5

3.地域子育て基幹ステーション事業

(1) 基幹ステーション会議参画

(2) 施設開行事：にこにこガーデンの開催 12 回/年

(3) 子育て講座：親子参加型イベント，講師の先生による子育て講座ほか。

(4) 機関紙の発行：地域向け子育て支援機関紙『ゆりかもめ』3 回/年の発行。

(5) 派遣事業：委託を受けた事業への保育士派遣。

元町小学校へ出向いた特別保育授業，出前保育(植物園)，ひよこクラブ，すくすく広場子育て支援等

4.地域貢献

- (1) 職業体験：中学生チャレンジ体験の受入れ(1校，2名)
- (2) 敬老の集い：子どもたちが鳳徳デイケアセンターへ行き、交流した。
- (3) 小学校行事への参加：元町小学校ジョイントコンサートへの参加。学芸会見学。他多数
- (4) 実習生の受入：保育士養成校から実習生の受入れ(3名)
- (5) ボランティアの受入：大谷大学学生の受入れ(3名)
- (6) 北区保育園こども文化フェスティバルへの参加(年長)，京都市保育園連盟主催『保育フェスタ』への協力
- (7) 関係各庁からの要請に対する協力

京都府：京都府教育委員会，図書館等連絡協議会，森の京都博実行委員会，農林水産部等

京都市：子ども若者はぐくみ局，保健福祉局，教育委員会，行財政局，総合企画局，消防局，都市計画局，文化市民局，環境政策局，総合支援学校，京都市ひとり親家庭支援センター，図書館，等

協会・団体：子育て支援総合センター，京都市住宅供給公社，京都市防災協会，青少年科学センター，教育美術振興会，京都マラソン実行委員会，京都市環境保全活動推進協会，共同募金会，等

5.職員

- (1) 構成：施設長 1,主任保育士 1,保育士 19,幼稚園教諭 1,栄養士 3,事務員 1
- (2) 処遇：常勤 17,非常勤 6,パート 3,職員処遇改善Ⅰ,処遇改善Ⅱ
- (3) 研修：職場外研修参加回数(施設長 回,保育士 95回,調理従事者 17回)
- (4) 社会保険年金等：雇用保険,健康保険,厚生福利,任意保険,退職金共済,健診 1回/年
- (5) 採用：京都市保育園連盟主催：就職フェア出展(6月,9月)
保育士 2人,管理栄養士 1人の採用を決定。

6.施設整備

- ・自主点検
- ・微細な修繕、改修工事
- ・消防設備業者による点検実施(年 1 回)、
- ・電気設備業者による点検実施(2 ヶ月に 1 回)
- ・リフト業者による点検実施(3 ヶ月に 1 回)

7.危機管理

- (1) 消防計画：年度当初に消防計画を立て、北消防署立会い指導を含め避難訓練を行い、また災害に対応できる体制づくり
避難・消火訓練(月 1 回)、断水・停電災害訓練(各年 1 回)、消防署立会い避難訓練(年 1 回)、救急救命講習(年 1 回)
- (2) 安全活動：テーマを決めた 11 回/年の安全防犯活動
- (3) 事故防止等のためのビデオカメラ稼働。
- (4) 不審者対策及び脱走対策として保育室等ビデオカメラ稼働。

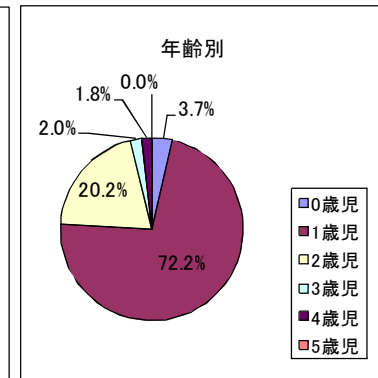
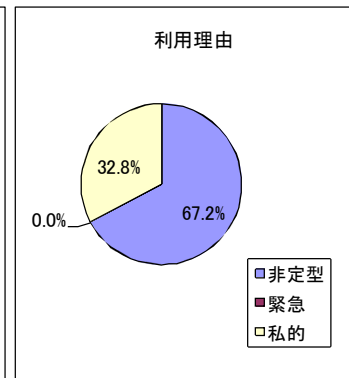
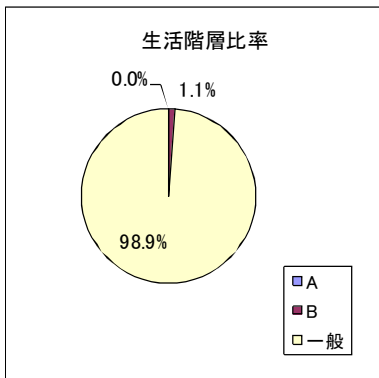
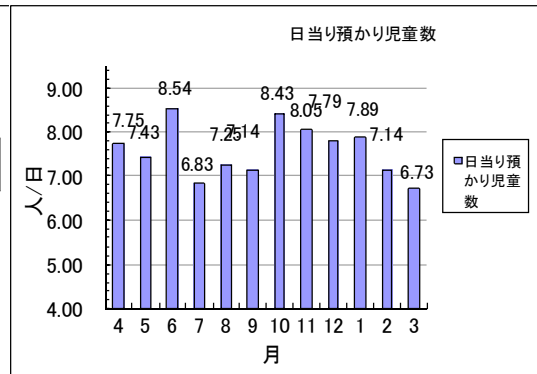
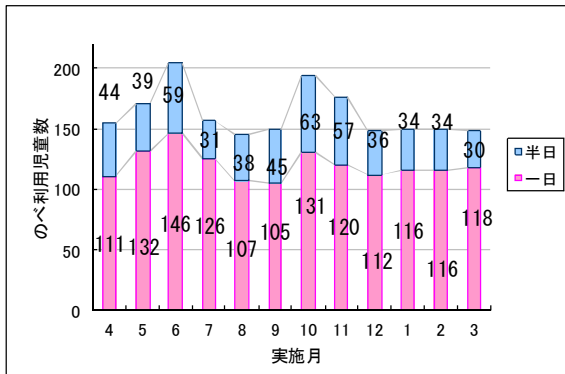
8.一時保育(預かり)事業

- (1) 事業内容：職員は常勤1名非常勤1名、1日概ね10人を限度に受入れ、一時的な保育を行った。
- (2) 実施日数：257日(前年度比+6)
- (3) のべ利用児童数：1,950人(前年度比+27人)
- (4) 預かり時間：4時間510人、8時間1,440人
- (5) 預かり比率：乳児96.2%、幼児3.8%
- (6) 入園者：一時保育利用者から平成31年4月までに入園した児童の数：3人

平成30年度

一時保育事業報告書

	実施日数	利用児童	のべ利用	日当り預り児童数	預り時間				生活階層						利用理由			利用料収入
					4時間		8時間		A		B		一般		非定型	緊急	私的	
					3才未	3才上	3才未	3才上	3才未	3才上	3才未	3才上	3才未	3才上				
合計	257	442	1950	7.59	502	8	1373	67	0	0	22	0	1853	75	1311	0	639	3,475,150
前期	131	214	983	7.50	248	8	706	21	0	0	9	0	945	29	638	0	345	1,767,150
後期	126	228	967	7.67	254	0	667	46	0	0	13	0	908	46	673	0	294	1,708,000
4月	20	32	155	7.75	41	3	109	2	0	0	0	0	150	5	98	0	57	276,150
5月	23	34	171	7.43	39	0	129	3	0	0	5	0	163	3	103	0	68	312,200
6月	24	37	205	8.54	57	2	143	3	0	0	2	0	198	5	134	0	71	363,650
7月	23	35	157	6.83	30	1	125	1	0	0	2	0	153	2	98	0	59	294,500
8月	20	35	145	7.25	38	0	105	2	0	0	0	0	143	2	103	0	42	262,800
9月	21	41	150	7.14	43	2	95	10	0	0	0	0	138	12	102	0	48	257,850
10月	23	41	194	8.43	63	0	115	16	0	0	2	0	176	16	135	0	59	325,550
11月	22	39	177	8.05	57	0	105	15	0	0	0	0	162	15	124	0	53	298,350
12月	19	35	148	7.79	36	0	108	4	0	0	0	0	144	4	100	0	48	269,400
1月	19	37	150	7.89	34	0	114	2	0	0	4	0	144	2	104	0	46	270,700
2月	21	40	150	7.14	34	0	112	4	0	0	5	0	141	4	104	0	46	271,800
3月	22	36	148	6.73	30	0	113	5	0	0	2	0	141	5	106	0	42	272,200



9. 外部監査

公認会計士事務所に業務委託を行い、税理士による外部監査を行った。

10. 要望・苦情等に関する相談窓口

園長及び主任保育士が窓口となり対応。また第三者委員として顧問社労士があたった。

11. 情報公開

保育園のホームページを運営し、施設の概要、保育内容、一時保育利用状況ほか、利用者向け周知を行った。

園ホームページにて現況報告書及び決算書の公表。